

◆「経済倶楽部講演録」

バックナンバーのご案内

- *10月号 磯野真穂「タテ社会から見るコロナ禍の日本」 高原明生「COVID-19に揺らぐ米」と中国―日本への期待」 伊藤元重「コロナとマクロ経済」
- *9月号 原田泰「QQEの成果とコロナ不況」 塩田潮「危機の首相」の使命と条件とは」
- 〈夏季特別企画〉新渡戸稲造「米人の日本観につき在米中得たる感想」(昭和8年5月13日講演)
- *8月号 佐々木俊尚「ポストコロナ時代のライフスタイルとテクノロジー」 熊野英生「アフターコロナの日本経済」 吉崎達彦「コロナショック下の米大統領選挙」

【編集後記】

内閣府の景気山と谷を判定する有識者会議「景気動向指数研究会」は7月30日に景気の拡大が18年10月に終了し後退局面に入ったと暫定的に認定しました。戦後最長記録を更新する20年2月のかなり前から景気は後退していたことになりました。データを基にした専門家の判定に対して官邸から山の時期を20年2月まで繰り下げないように圧力がかったそうです。幸いにもメンバー全員が辞任覚悟で拒否して事なきを得ましたが、安倍政権の中枢部が極めて危険な都合主義に毒されていた事実が暗然とします。菅政権がこうした体質を受け継がないこと、そして関係者が勇気をもって不当な圧力に屈しないことを願うばかりです。次号は、近藤克則氏「ゼロ次予防―認知症の少ない社会をつくる」、与良正男氏「難題山積の中、始動した菅政権」、吉川洋氏「日本経済の現状と課題」、チャールズ・レイク氏「ニューノーマル時代のグッドガバナンス」です。

東洋経済 **経済倶楽部講演録** (2020年11月号)

2020(令和2)年11月20日発行

本書内容の複写・複製・転載・磁気媒体への入力はお断りします。

発行人 駒橋 憲一 編集人 柴生田 晴四

発行 東洋経済新報社
編集 一般社団法人 経済倶楽部

〒103-8345 東京都中央区日本橋本石町1-2-1 (東洋経済ビル9階)

電話 03-3270-0681 Fax 03-3270-0987

e-mail; keizaiclub@nifty.com

ホームページ <https://www.keizaiclub.or.jp>

印刷・製本 東港出版印刷

〈本誌は全国の経済倶楽部会員向けに刊行され、市販はいたしません〉